

宿泊約款

第1条 適用範囲

当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款の定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとします。

当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条 宿泊契約の申込み

当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出て頂きます。

- ① 宿泊者名 性別及び人数
- ② 宿泊日及び到着予定時刻
- ③ 宿泊料金(原則として別表第1による)
- ④ その他当館が必要と認める事項

宿泊客が、宿泊中に前項②の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館はその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

宿泊の申込みをした者は、当館が宿泊者の氏名・住所・電話番号などを記載した宿泊者名簿の提出を依頼したとき、宿泊契約の成立後であっても、直ちに提出するものとします。

第3条 宿泊契約の成立等

宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。

前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の宿泊料金を限度として、当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払い頂きます。当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第17条の規定を適用する事態が生じたときは、取消料に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

当館が、インターネットサイト又は電話等で誤った宿泊料金を提示、ご案内し、当該宿泊料

金に基づき、宿泊契約の申込、承諾があった場合であっても、当該宿泊料金がその前後の期日より、著しく低廉であった時は、当該宿泊料金が著しく低廉である理由(「限定」「特別」等)の表示が無い限り、民法上の錯誤による承諾となり、当該宿泊契約は無効とさせていただき、速やかにその旨の通知を差し上げます。

第4条 申込金の支払いを要しないこととする特約

前条の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条の申込金の支払いを求めなかった場合、及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第5条 宿泊契約締結の拒否

当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結、及び旅館内諸施設の利用に応じないことがあります。

- ① 宿泊の申込みが、この約款によらないとき
- ② 満室(員)により客室の余裕がないとき
- ③ 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき
- ④ 宿泊しようとする者が、次のイからホに該当すると認められるとき

イ)「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成3年法律第77号)第2条第2号)による指定暴力団等又はその関係者その他反社会的勢力(以下、「暴力団」という。)であるとき

ロ)暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体又はその構成員であるとき

ハ)暴力団などに該当する者が役員となっている法人又はその構成員であるとき

ニ)刑事事犯による手配・逮捕・検挙・起訴・有罪判決のあったとき

ホ)暴行・傷害・強要・脅迫・恐喝・詐欺及びこれに類する行為のあったとき

- ⑤ 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に泥酔などにより著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき、またはその恐れがあると当館が認めたとき
- ⑥ 宿泊しようとする者が伝染病であると明らかに認められるとき

- ⑦ 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
- ⑧ 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- ⑨ 長崎県旅館業法施行条例第 6 条及び長崎県迷惑行為防止条例の規定する場合に該当するとき。
- ⑩ 宿泊の申し込みをした者が、予約した部屋につき、転売や有料での斡旋など自己の利益を図る目的を秘して申し込みをしたとき

第6条 宿泊客の契約解除権

宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第 3 条の規定により当館が申込金の支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）

別表第 2 に掲げるところにより、取消料を申し受けます。また、宿泊契約時に別表 2 以外の取消料について定義していた場合、宿泊契約時の条件に基づき、取消料を申し受けます。

ただし、当館が第 4 条の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの取消料支払い義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。

当館は、宿泊客が連絡をしないで、宿泊日当日の 20：00（事前に 20：00 以降の到着時刻を当館に連絡していた場合は、到着時刻を 2 時間過ぎた時点）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし、処理することがあります。

第7条 当館の契約解除権

1. 当館、次に掲げる場合においては、宿泊契約及び旅館内諸施設の利用契約を解除することがあります。

- ① 宿泊客が当館の宿泊約款、及び旅館の利用規則を遵守いただけないとき
- ② 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をす
るおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき
- ③ 宿泊客が品行方正を欠くなど、当館が宿泊において不適格だと判断したとき
- ④ 宿泊客が当館に対して、ご利用代金の支払いをしていただけなかったとき、あるいは遅延したとき
- ⑤ 宿泊客が宿泊契約の締結時に、虚偽の申請をしたとき
- ⑥ 宿泊客が刑事事犯による前科前歴があり、当館として相応しくないと認められたとき

- ⑦ 宿泊客が公権力により、手配・逮捕・検挙・起訴・有罪判決のあったとき
- ⑧ 宿泊客が次のイ～へに該当すると認められるとき
 - イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体又はその構成員であるとき
 - ハ) 暴力団などに該当する者が役員となっている法人又はその構成員であるとき
 - ニ) 前項に準ずる者、あるいは当館が前項目のものとみなす団体あるいは組織、もしくは偽計や威迫を用いる団体その他これら組織に関与しているとき
 - ホ) 宿泊客が暴行・傷害・強要・脅迫・恐喝・詐欺および、それに類する行為があったとき
 - ヘ) その他、上記④～⑧に準ずる事由があるとき
- ⑨ 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき
- ⑩ 宿泊客が泥酔などで他の宿泊客に迷惑を及ぼす恐れがあると認められた時や、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき
- ⑪ 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
- ⑫ 天災、事変等不可抗力、施設の故障等に起因する事由により宿泊させることができないとき
- ⑬ 長崎県旅館業法施行条例第 6 条及び長崎県迷惑行為防止条例の規定する場合に該当するとき
- ⑭ 寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他旅館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき

当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第8条 宿泊の登録

宿泊客は、宿泊日当日、当館の受付において、次の事項を登録して頂きます。

- ① 宿泊客の氏名、年齢、性別、職業及び住所、連絡先電話番号
- ② 日本国内に住所を持たない宿泊客は、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- ③ 出発日及び出発予定時刻
- ④ その他の旅館が必要と認める事項

宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わ

り得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示して頂きます。尚、チェックインの際に前もってお支払い頂く場合があります。

上記①～④の確認のため、免許証、マイナンバーカード、在留カード、パスポート等の呈示を依頼する場合があります。また、諸官庁、行政からの指導があった場合は、個人確認書類のコピーを行い、当館に保管を致します。

第9条 客室の使用時間

宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、下記の通りとなります。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

到着日 15:00 以降

出発日 11:00 まで

当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

出発日 11:00 以降、15:00 まで	二階建て和洋室	1時間につき、5,000円（税別）
	特別室	1時間につき、10,000円（税別）
15:00 以降		宿泊料の100%

第10条 利用規則の遵守

宿泊客は、当館内においては、当館が定めて旅館内に掲示した利用規則に従って頂きます。

第11条 営業時間

当館の施設等の営業時間は、各所の掲示、小冊子、客室内のインフォメーション等でご案内致します。また、必要やむを得ない場合には、臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもって、お知らせ致します。

第12条 料金の支払い

宿泊者が支払うべき料金の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等、これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、レセプション及び客室において行って頂きます。

当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第13条 当館の責任

当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、故意または過失によって、宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただしそれが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。当館は、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条 契約した客室の提供ができないときの取り扱い

当館は宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、取消料相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害補償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは補償料を支払いません。

第15条 寄託物等の取扱い

(ア) 宿泊客が、レセプションにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当館はその損害を補償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は10万円を限度としてその損害を賠償します。

(イ) 宿泊客が、当館内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってレセプションにお預けにならなかったものについて、当館の故意または過失により滅失、毀損等の損害が生じたとき、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額を明告のなかったものについては、当館に故意又は重大な過失がある場合を除き、3万円を限度として当館はその損害を賠償します。

第16条 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- (ア) 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がチェックインする際、またはチェックイン後、レセプション、または客室にてお渡しします。
- (イ) 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物または携帯品が当館に置き忘れられていた場合、当館は当該所有者からの指示に従います。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届け出、警察署の指示に従います。尚、飲食物、たばこ、雑誌、日常生活の用に供する消耗品、およびそれに準ずる物については、即日処分致します。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、①の場合にあっては前条①の規定に、②の場合にあっては、旅館に責任はありません。

第17条 駐車場の責任

宿泊客が当館の駐車場を利用する場合、車両のキーの寄託如何にかかわらず、当館の場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。なお、利用においては、看板やサイン、旅館従業員の指示等に従って頂きます。また駐車中、必要時以外は、エンジンおよび音響を停止するものとします。当館提携駐車場についても上記に準じるものとします。

第18条 宿泊客の責任

宿泊客の故意または過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償して頂きます。

第19条 宿泊客見舞金規程

当館は、当館の宿泊客が当館宿泊中に傷害以外の事由により死亡した場合には、加入している旅館損害賠償保険、規程に記載の事項を実施致します。

第20条 準拠法、合意管轄裁判所

当館と宿泊客との間の宿泊契約に関する紛争は、日本法を準拠法とし、当館を経営又は運営

する会社の本店所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所をもって専属管轄裁判所とします。

第 21 条 免責事項

当館内からコンピューター通信のご利用は、お客様ご自身の責任で行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害、電波障害、停電、その他理由により、サービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当社は一切の責任を負いません。またコンピューター通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償して頂きます。

第 22 条 言語

本約款は日本語を原文とし、他言語は訳文とします。尚、英語の訳文は日本語の原文の参考として作成されるものに過ぎず、すべて日本文によるものが優先することとします。

別表

別表第 1：宿泊料金等の内訳

		内訳
宿泊客が支払うべき総額	基本宿泊料	室料 食事代（到着までにご予約頂いた場合） 事前に手配依頼された付帯事項
	追加料	飲食料 付帯施設の利用料、その他
	サービス料	明示してある場合
	税金	消費税

※宿泊料金は、予約時に提示した料金によります。

別表第 2：取消料金

契約解除の通知を受けた日

	人数	不泊	当日	前日	3 日前	7 日前	14 日前	28 日前
一般	9 名まで	100%	100%	100%	50%	30%	10%	
団体	10 名以上	100%	100%	100%	80%	30%	20%	
貸切		100%	100%	100%	100%	100%	80%	50%

【注意】

・%は、申込時に合意した宿泊料金（食事つきプランは食事代も含む）に対する取消料の比率です。

・契約日数が短縮した場合は、その短縮日数に対し、取消料を申し受けます。

・団体客(15 名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の 7 日前(その日より申し込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の 10%未満(端数が出た場合には切り上げる)の解除の場合、取消料を頂きません。

・天災により物理的に到着が困難な場合、この限りではありません。

利用規則

半水廬では、宿泊約款第10条に基づき、当館の品位を保ち、また、お客様が当館に滞在中に快適かつ安全にお過ごしいただくことを目的とした利用規則を下記の通り定めておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。万一この規則に対してご協力いただけなかった場合は、宿泊約款第7条第1項により、お部屋及び当館内の他の諸設備のご利用をお断り申し上げることがあります。また、お客様のご協力が得られなかった結果生じた事故については、当館では責任を負いかねますので、その旨ご了承下さいますようお願い申し上げます。

下記の物品は、他のお客様のご迷惑になりますので、お持ち込みをお断りさせていただきます。

- ・動物、鳥類（身体障害者補助犬を除く）
- ・火薬、揮発油その他発火、引火性のもの
- ・異臭を発するもの
- ・常識的な大きさ、量をこえる物品
- ・法により所持を許可されていない鉄砲、刃剣、覚醒剤の類

当館内では、他の宿泊客の迷惑になる以下の行為はご遠慮ください。

- ・ご訪問客と客室内でのご面会。ご面会はロビーにてお願い致します。
- ・定められた場所以外での喫煙。
- ・火災の原因となるような行為。
- ・客室やロビーをパーティ会場や事務所、営業所がわり等、宿泊以外の目的としてご利用すること
- ・広告、宣伝物の配布、物品の販売もしくは勧誘行為。
- ・バスローブ、下着のみ等で客室外に出ること。
- ・賭博、その他風紀を乱し、他人に迷惑をかけるような行為。
- ・他のお客様に嫌悪感や不快感を与える行為または騒音等の迷惑行為。
- ・当館の許可なく当館内において営業目的で写真撮影をすること、もしくは当館内で撮影した写真を営業目的で使用すること。

ご滞在中の現金、貴重品の保管にはお部屋の金庫をご利用いただくようお願い致します。

万一の紛失、盗難事故等が発生した場合、当館では一切の責任を負いません。

ルームキーは、当館から外出する際、レセプションに預けてください。尚、チェックアウトの際には、必ずご返却ください。

館内の諸設備および諸物品についてのお願い

本来の目的以外の用途にご使用なさないでください。

当館の許可なく、客室内備品を移動させたり、客室内に造作を施し、あるいは改造したりしないでください。客室内の備品は、客室外へ持ち出さないでください。

他の場所に移動したり加工したりしないでください。

館内外の諸設備、備品の汚損、破損、紛失については、実費を申し受けます。

館内では、当館の許可なく、暖房用、炊事用の火気を使用しないでください。客室内での調理は固くお断り致します。

当館の外観を損なうような品物をテラスに置かないでください。またあらゆる物品を落下させないでください。

客室以外の場所に所持品を放置しないでください。

ご滞在中、当館から勘定書の提示がございましたら、その都度、お支払いください。

当館外から飲食物等のご注文（客室への配達）はお断りさせていただきます。

Terms and Conditions of Accommodation

【HANZUIRYO】

Article 1. Scope of application

The Accommodation Contract and related contracts concluded by the Ryokan with the Guest shall be in accordance with the provisions of these Terms and Conditions, and any matters not stipulated in these Terms and Conditions shall be governed by laws and regulations or generally established customs.

Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, when the Ryokan has entered a special contract with the Guest insofar as it does not violate laws and regulations and generally accepted practices,

The special contract shall take precedence.

Article 2. Application for Accommodation Contract

A person who intends to apply for an accommodation contract with the Ryokan shall notify the Ryokan of the following matters.

- ① Name of Guest, Gender and Number of Guest(s)
- ② Date of accommodation and estimated time of arrival
- ③ Accommodation charges (in principle, according to Attached Table No. 1)
- ④ Other matters deemed necessary by the Ryokan

In the case when the Guest requests, during his/her stay, to extend his/her stay beyond the date set forth in paragraph ② of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

When the Ryokan requests the submission of a list of guests containing the name, address, telephone number, etc. of the guest, the person who has applied for accommodation shall submit it immediately even after the conclusion of the Accommodation Contract.

Article 3. Conclusion of accommodation contracts, etc.

The Accommodation Contract shall be deemed to have been concluded when the Ryokan accepts the application set forth in the preceding Article. However, this shall not apply if it is proved that the Ryokan has not accepted the application.

When an Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of

the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Ryokan by the date specified by the Ryokan, up to the limit of the Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days if the period of stay exceeds 3 days). If payment is not made by the date specified by the Ryokan, the Accommodation Contract shall become invalid. However, this shall apply only if the Ryokan has notified the Guest to that effect when specifying the due date for payment of the deposit.

The deposit shall first be applied to the Accommodation Charges to be paid by the Guest, and in the event that the provisions of Article 6 and Article 17 apply, the deposit shall be applied in the order of the cancellation fee and then the reparations, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of payment of the Accommodation Charges prescribed in Article 12. Even in the case where the Ryokan has made an application for or acceptance of an Accommodation Contract based on the Accommodation Charges on the basis of the Accommodation Charges due to the incorrect Accommodation Charges on the Internet site or by telephone, etc., if the Accommodation Charges are significantly lower than the dates before and after the Accommodation Charges, the reason for the Accommodation Charges being significantly lower (e.g., "limited" or "special") shall not be indicated. If the consent is due to a mistake under the Civil Code, the accommodation contract will be invalid, and we will promptly notify you to that effect.

Article 4. Special contract that does not require payment of application fee

Notwithstanding the provisions of the preceding Article, the Ryokan may enter a special contract that does not require the payment of the application fee set forth in the same paragraph after the conclusion of the contract.

If the Ryokan does not request payment of the application fee as set forth in the preceding Article or does not specify the due date for payment of the application fee when accepting the application for an Accommodation Contract, it shall be treated as having accepted the special contract set forth in the preceding Paragraph.

Article 5. Refusal to conclude an accommodation contract

In the following cases, the Ryokan may not accept the conclusion of an accommodation contract or the use of the facilities in the Ryokan.

- ① When the application for accommodation does not comply with these Terms and Conditions

- ② When there is no room available due to full occupancy
- ③ When it is deemed that the person seeking accommodation is likely to conduct himself or herself in a manner that will contravene the provisions of laws and regulations, public order or good morals regarding his/her accommodation.
- ④ When the person seeking accommodation is deemed to fall under any of the following (a) to (e)
 - a) "Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members"(Act No. 77 of Heisei 3) Article 2, Item 2) Designated organized crime groups, etc., or their related parties and other antisocial forces (hereinafter referred to as "organized crime groups").) When it is
 - b) When an organized crime group or a member of an organized crime group is a corporation or other organization that controls business activities, or a member thereof.
 - c) When a person who falls under the category of an organized crime group is a corporation or a member thereof of which he or she is an officer.
 - d) When there is an arrangement, arrest, indictment, or conviction of a criminal offense
 - e) In the event of assault, injury, coercion, intimidation, extortion, fraud, or similar acts
 - ⑤ When the person seeking accommodation behaves in a manner that causes significant inconvenience to other guests due to drunkenness, etc., or when the Ryokan deems that there is a risk of such behavior.
 - ⑥ When the person seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
 - ⑦ When a violent demand is made, or an unreasonable burden is demanded in relation to the accommodation;
 - ⑧ When it is not possible to provide accommodation due to natural disasters, malfunction of facilities, or other unavoidable reasons.
 - ⑨ When it falls under the provisions of Article 6 of the Nagasaki Prefecture Ryokan Business Enforcement Ordinance and Nagasaki Prefecture Nuisance Prevention Ordinance.
 - ⑩ When the person who applied for accommodation secretly applies for the reserved room for the purpose of self-interest, such as resale or placement for a fee.

Article 6. Guest's right to cancel the contract

The Guest may cancel the Accommodation Contract by notifying the Ryokan.

If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to reasons

attributable to the Guest (except in the case where the Ryokan has requested payment of the accommodation deposit pursuant to the provisions of Article 3 and the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment).)

A cancellation fee will be charged as listed in Appendix 2. In addition, if a cancellation fee other than Attached Table 2 is defined at the time of the accommodation contract, a cancellation fee will be charged based on the conditions at the time of the accommodation contract.

However, in the case where the Ryokan has entered a special contract stipulated in Article 4, the same shall apply only when the Ryokan has notified the Guest of the obligation to pay the cancellation fee in the event of cancellation by the Guest in the event of cancellation of the Accommodation Contract.

If the Guest does not arrive by 20:00 on the day of accommodation (or 2 hours after the arrival time if the Guest has been notified of the arrival time after 20:00 in advance) without prior notice, the Ryokan may regard the Accommodation Contract as having been cancelled by the Guest and process it.

Article 7. Our right to withdraw from the contract

1. In the following cases, the Ryokan may cancel the accommodation contract and the contract for the use of the facilities in the Ryokan.
 - ① When the guest fails to comply with the terms and conditions of the Ryokan and the rules of use of the Ryokan.
 - ② When it is recognized that the guest is likely to conduct himself in a manner that will contravene the provisions of laws and regulations, public order or good morals in relation to his accommodation, or when it is recognized that he or she has committed such acts.
 - ③ When the Ryokan deems the guest to be unfit for accommodation, such as lack of good manners.
 - ④ When the Guest fails to pay the Usage Fee to the Ryokan or is delayed.
 - ⑤ When the Guest makes a false application at the time of concluding the Accommodation Contract.
 - ⑥ When the guest has a criminal record due to a criminal offense and is deemed unsuitable for the Ryokan.
 - ⑦ When the Guest has been arrested, arrested, prosecuted, or convicted by a public authority.

- ⑧ When it is recognized that the guest falls under any of the following (a~f)
- a) Organized crime groups, members of organized crime groups, associate members of organized crime groups, people related to organized crime groups, and other antisocial forces.
 - b) When an organized crime group or a member of an organized crime group is a corporation or other organization that controls business activities, or a member thereof.
 - c) When a person who falls under the category of an organized crime group is a corporation or a member thereof of which he or she is an officer.
 - d) When the Guest is involved in a person equivalent to the preceding Paragraph, or a group or organization deemed by the Ryokan to be a member of the preceding Paragraph, or an organization that uses deception or intimidation, or any other organization.
 - e) When the guest is assaulted, injured, extorted, threatened, blackmailed, fraudulent, or similarly acted.
 - f) In addition, when there is a reason equivalent to ④ ~ ⑧ above
- ⑨ When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease.
- ⑩ When it is recognized that the guest is likely to cause trouble to other guests due to drunkenness, etc., or when the guest behaves in a manner that causes significant inconvenience to other guests.
- ⑪ When a violent demand is made, or an unreasonable burden is demanded in relation to the accommodation;
- ⑫ When it is not possible to provide accommodation due to reasons caused by force majeure such as natural disasters, incidents, malfunction of facilities, etc.
- ⑬ When it falls under the provisions of Article 6 of the Nagasaki Prefecture Ryokan Business Enforcement Ordinance and Nagasaki Prefecture Nuisance Prevention Ordinance.
- ⑭ When you do not comply with the prohibitions of smoking in bed, mischief with firefighting equipment, etc., or other prohibited acts (limited to those necessary for fire prevention) stipulated by the Ryokan.

If the Ryokan has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Ryokan shall not be entitled to charge the Guest for any accommodation services that the Guest has not yet received.

Article 8. Register your stay

On the day of accommodation, the Guest is required to register the following items at the reception desk of the Ryokan.

- ① Name, age, gender, occupation and address, contact telephone number of the Guest.
- ② If the guest does not have an address in Japan: nationality, passport number, port and date of entry into Japan.
- ③ Departure date and estimated time of departure
- ④ Other items that the Ryokan deems necessary

If the Guest intends to pay his/her Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph. Please note that payment may be required in advance at check-in.

In order to confirm ① ~ ④ above, you may be asked to present your driver's license, My Number Card, residence card, passport, etc. In addition, if there is guidance from various government agencies or governments, we will make a copy of the personal verification document and keep it at the Ryokan.

Article 9. Occupancy time of the room

The Guest may occupy the rooms of the Ryokan during the following hours: However, in the case where the Guest is accommodated consecutively, the Guest may occupy the room all day long, except for the days of arrival and departure.

Arrival date	After 3:00 PM
Departure date	Until 11:00 AM

Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Ryokan may permit the Guest to occupy the guest room beyond the hours stipulated in the same Paragraph. In this case, the following additional charges will be charged.

Departure date After 11:00 AM until 3:00 PM

Duplex villa suite: Additional charge of 5,000 yen (excluding tax) per hour

Villa suite, open-air onsen and sauna: Additional charge of 10,000 yen (excluding tax) per hour

After 3:00 PM 100% of the accommodation fee

Article 10. Compliance with the Rules of Use

Guests are required to comply with the rules of use established by the Ryokan and posted in the Ryokan.

Article 11. business hours

The business hours of the Ryokan's facilities will be announced by notices in various places, booklets, information in guest rooms, etc. In addition, if it is necessary and unavoidable, it may be changed temporarily. In that case, we will notify you by an appropriate method.

Article 12. Payment of fees

The breakdown of the charges payable by the Guest shall be as listed in Attached Table No. 1.

Payment of Accommodation Charges, etc. must be made in Japanese currency or traveler's checks, accommodation vouchers, credit cards, etc. approved by the Ryokan.、 By an alternative method, At the time of the departure of the guest or at the request of the Ryokan, it is required to be done at the reception and in the guest room.

Even if the guest does not voluntarily stay at the Ryokan after the Ryokan has provided the guest with a room and made it available for use, Accommodation fee will be charged.

Article 13. Article 13 Responsibility of the Ryokan

The Ryokan shall compensate the Guest for any damage caused to the Guest intentionally or negligently in the performance of the Accommodation Contract and related contracts. However, this does not apply if it is not due to reasons attributable to the Ryokan. The Ryokan is covered by inn liability insurance.

Article 14. Handling when the contracted room cannot be provided

When the Ryokan is unable to provide the contracted room to the Guest, the Ryokan shall, with the consent of the Guest, arrange other accommodation of the same standard as far as possible.

Notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, when arrangement of accommodation cannot be made, the Ryokan shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation fee, and the compensation fee shall be applied to the amount of compensation for damages. However, if there is no reason attributable to the Ryokan for not being able to provide the room, the Ryokan will not pay the compensation.

Article 15. Handling of deposited items, etc.

1. In the event of loss, breakage, or other damage to goods, cash or valuables deposited at the reception by the guest, the Ryokan shall compensate for such damage, except in cases of force majeure. However, in the case of cash and valuables, if the Ryokan requests the Guest to declare the type and value of such items and the Guest fails to do so, the Ryokan shall compensate the Guest for damages up to a maximum of 100,000 yen.
2. The Ryokan shall compensate the Guest for any loss, breakage, or other damage caused by the Ryokan's willful misconduct or negligence with respect to goods, cash or valuables brought into the premises of the Ryokan by the Guest that was not deposited at the reception. However, in the case of items for which the type and value of the item have not been clearly stated in advance by the guest, the Ryokan shall compensate the guest for damages up to a maximum of 30,000 yen, except in cases of willful misconduct or gross negligence on the part of the Ryokan.

Article 16. Storage of the guest's baggage or personal belongings

1. If the Guest's baggage arrives at the Ryokan prior to his/her stay, it shall be the responsibility of the Guest to keep it and give it to the Guest at the time of check-in, after check-in, at the reception or in the guest room, only if the Ryokan has agreed to do so prior to his/her arrival.
2. If the guest's baggage or personal belongings are left behind at the Ryokan after the guest has checked out, the Ryokan shall follow the instructions of the owner concerned. However, if there is no instruction from the owner or if the owner cannot be identified, we will keep it for 7 days including the day of discovery, and then report it to the nearest police station and follow the instructions of the police station. Food, drinks, cigarettes, magazines, consumables used for daily life, and similar items will be disposed of on the

same day.

The Ryokan's responsibility for the custody of the Guest's baggage or belongings shall be: In the case of (1), the Ryokan is not responsible for the provisions of (1) of the preceding article, and in the case of (2).

Article 17. Responsibility for parking

When the Guest uses the parking lot of the Ryokan, regardless of whether or not the key to the vehicle is deposited, the Ryokan is only renting the place of the Ryokan, and the Guest is not responsible for the management of the vehicle. However, if the Ryokan intentionally or negligently causes damage in the management of the parking lot, the Ryokan shall be liable for compensation. In addition, please follow the signs, signs, and instructions of Ryokan employees. In addition, the engine and acoustics shall be shut off while parked, except when necessary. The Ryokan's affiliated parking lot shall also be subject to the above.

Article 18. Guest's Responsibilities

If the Ryokan suffers damage due to the intention or negligence of the Guest, the Guest shall compensate the Ryokan for the damage.

Article 19. Guest's Condolence Fee Regulations

If a guest of the Ryokan dies due to reasons other than injury during the stay of the Ryokan, the Ryokan will implement the matters described in the Ryokan liability insurance and regulations.

Article 20. Governing Law, Court of Jurisdiction

Any dispute between the Ryokan and the Guest regarding the Accommodation Contract shall be governed by the laws of Japan and shall be subject to the exclusive jurisdiction of the district court or summary court having jurisdiction over the location of the head office of the company that manages or operates the Ryokan.

Article 21. Disclaimer

The use of computer communication from within the Ryokan is at the customer's own risk.

The Company shall not be liable for any damage incurred by the user because of interruption of the service due to system failure, radio interference, power outage, or other reasons during the use of computer communication. In addition, if the Company or a third party suffers damage due to an act that the Company deems inappropriate for the use of computer communication, the Company shall be required to compensate for the damage.

Article 22. Language

These Terms and Conditions shall be written in Japanese as the original text, and other languages shall be translated into translation. English translations are only prepared as a reference for the original Japanese text, and all translations in Japan shall take precedence.

Schedule

Appendix No. 1: Breakdown of Accommodation Fees and Charges

		breakdown
Total amount payable by the guest	Basic Accommodation Charge	Room Meals (if booked prior to arrival) Ancillary matters requested in advance
	Additional Fees	Food & Beverage Fees for ancillary facilities, etc.
	Service Charge	If it is explicitly stated
	tax	consumption tax

* The accommodation fee is based on the price presented at the time of reservation.

Appendix No. 2: Cancellation Fee

The date on which the notice of termination of the contract is received

Number of Days Prior to Arrival		No-show	On the day	1day	3 days	7 days	14 days	28 days
general	Up to 9 people	100%	100%	100%	50%	30%	10%	
organization	10 people or more	100%	100%	100%	80%	30%	20%	
Charter		100%	100%	100%	100%	100%	80%	50%

【Caution】

- % is the ratio of the cancellation fee to the accommodation fee agreed upon at the time of application (including meals for plans with meals).
- If the number of days of the contract is shortened, a cancellation fee will be charged for the number of days shortened.
- In the event of cancellation of the contract for a part of the group guests (15 or more), no cancellation fee will be charged in the case of cancellation of less than 10% of the number of guests (rounded up if fractional) is made 7 days prior to accommodation (or the date of acceptance if the application is accepted from that date).
- This does not apply if it is physically difficult to arrive due to a natural disaster.

Rules of Use

In accordance with Article 10 of the Accommodation Contract, our Ryokan has established the following rules of use for the purpose of maintaining the dignity of the Ryokan and ensuring that guests can spend their time comfortably and safely during their stay at the Ryokan. In the unlikely event that you do not cooperate with these rules, we may refuse to use your room and other facilities in the Ryokan in accordance with Article 7, Paragraph 1 of the Accommodation Contract. In addition, please note that we are not responsible for any accidents that occur because of not being able to obtain the cooperation of our customers.

The following items are not allowed to be brought in as they may cause inconvenience to other customers.

- Animals, birds(Excluding Service Dogs for Persons with Disabilities)
- Explosives, volatile oils, and other ignitable or flammable substances
- Items that emit strange odors
- Items that exceed common sense size and quantity
- Guns, swords, and stimulants that are not permitted to be possessed by law

Please refrain from the following acts that may disturb other guests in the Ryokan.

- Meet visitors in the guest room. Please meet in the lobby.
- Smoking outside of designated areas.
- Acts that may cause a fire.
- Using guest rooms and lobbies for purposes other than lodging, such as party venues, offices, and sales offices.
- Distribution of advertisements, promotional materials, sale of goods, or solicitation activities.
- Leaving the guest room in only a bathrobe and underwear.
- Gambling and other acts that disturb morals and cause trouble to others.
- Acts that cause disgust or discomfort to other customers, or nuisances such as noise.
- Taking photographs for business purposes in the Ryokan without the permission of the Ryokan, or using photos taken in the Ryokan for business purposes.

Please use the room safe to store cash and valuables during your stay.

In the unlikely event of loss or theft, the Ryokan will not be responsible for any accidents.

Please leave your room key at the reception when you leave the Ryokan. Please be sure to

return it at check-out.

Requests for facilities and items in the Ryokan

Do not use the product for any purpose other than its intended purpose.

Please do not move, alter or alter the room equipment without the permission of the Ryokan. Please do not take any equipment out of the room.

Do not move or process it elsewhere.

Actual expenses will be charged for any damage, damage, or loss of equipment and fixtures inside and outside the building.

Please do not use heating or cooking fire in the Ryokan without the permission of the Ryokan. Cooking in the room is strictly prohibited.

Please do not place items on the terrace that may spoil the appearance of the Ryokan. Also, do not drop any items.

Do not leave your belongings outside of your room.

During your stay, the Ryokan will ask you to pay for any bills you may receive.

We do not accept orders for food and drinks (delivery to guest rooms) from outside the Ryokan.